

3-5 南平駅周辺地区（47ha→50ha に拡大）

（1）現状

1) 駅周辺

●日野市の生活拠点として、物販店舗、中学校、郵便局、福祉施設が立地しています

- ・南平駅周辺地区は、まちづくりマスタープランにおいて生活拠点として位置づけられ、物販店舗、七生中学校、日野南平郵便局、みなみだいら児童館ぶらねっとや南平駅西交流センターなどが立地しています。



南平駅西交流センター



みなみだいら児童館ぶらねっと

●引き続き北野街道における交差点改良を進めていく必要があります

- ・本地区南側の北野街道は、交差点部分では擦り付け勾配が20%程度となっていますが、現在、東京都がセミフラット構造による交差点改良を実施しています。
- ・改良対象以外の区間では、歩道の有効幅員が1.3mと狭く、マウントアップ構造のため、交差点部分では横断勾配が急になっていたり、白線の路面標示が老朽化しているなど、再整備を進めていくことが求められます。



北野街道の交差点改良以外の区間における整備が望まれる

- ・また、駅前通りと北野街道との交差点では、一部が音響式信号でない状況にあります。

●都市計画道路3・4・14号線が整備され、京王線との立体交差が完了しました

- ・北側に位置する都市計画道路3・4・14号線は京王線と立体交差（アンダーパス）整備が完了し、2011年に側道整備等も完了しました。
- ・幅員の広い歩道が整備されており、七生中学校前では視覚障害者誘導用ブロックの設置が望まれます。



京王線との立体交差が完了



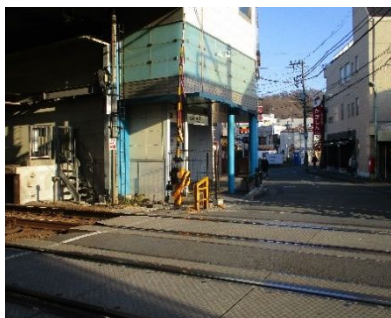
七生中学校前は学校入口までの視覚障害者誘導用ブロックの設置が望まれます



視覚障害者誘導用ブロックの設置が望まれる七生中学校南側の交差点

●南平駅周辺では、歩行空間の整備が必要です

- ・駅前通りのうち、南平駅西側の踏切北側は歩道が未整備であり、駅南側にも歩道が未整備となっている区間があります。
- ・このため、歩行空間を確保するとともに、踏切内に歩行者の通行区間の路面標示が望まれます。
- ・また、駅付近にはトイレがないため、バリアフリートイレを設置して欲しいとの要望が出されています。



踏切内に歩行者の通行空間の路面標示が望まれる



駅南側には歩道が未整備の区間がある



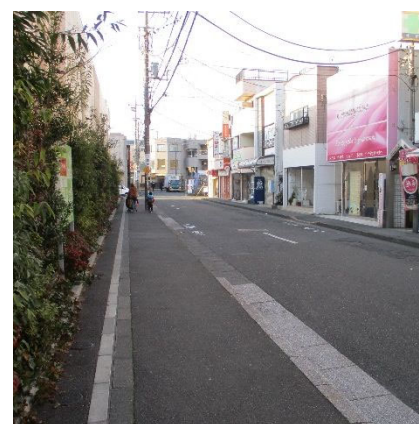
踏切北側は歩道が未整備



駅付近にバリアフリートイレの設置が望まれています

●南平駅から北野街道までの区間は、バリアフリー化の工夫が必要です

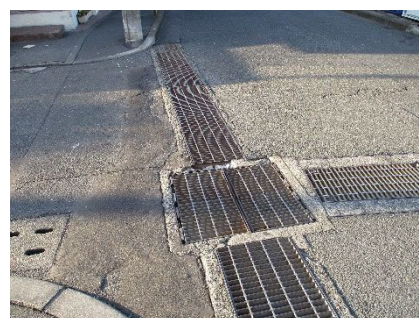
- ・同区間は、15cmのマウントアップ構造で、特に東側の歩道幅員は1m程度で歩道面が波打っているため、車いす利用者が通行しにくい状況にあります。
- ・こうした状況を踏まえて、ヤマダ電機跡地に新規出店したヤオコーの整備に合わせて壁面のセットバック、歩道状空地进行を誘導し、車椅子の通行が可能な安全な歩行空間を確保しました。
- ・また、グレーチングの網目が大きく、^{はくじょう}白杖が挟まるなど、車いすの走行に支障があります。



ヤオコーの出店に併せて歩道上空地进行を誘導し車椅子の通行が可能な歩行空間を確保



歩道巻き込み部分の勾配は20%程度で急になっている（左）。東側の歩道は1.1mと狭い（右）。



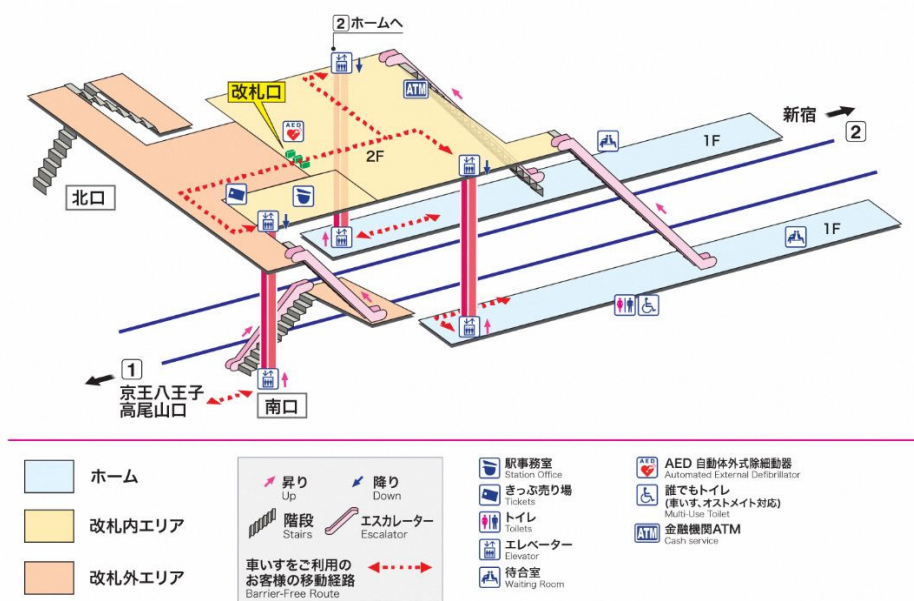
グレーチングの網目が大きく危険

2) 駅舎等

●橋上駅舎化工事によってバリアフリー対策が実施されました

- ・駅舎の橋上駅舎化工事が2010年より着手され、2012年に竣工しました。橋上部に改札口が整備され、南口には上下移動施設(エレベーター、エスカレーター、階段)、一般トイレ及びバリアフリートイレ、待合室が、北口には階段が整備されました。
- ・北口のエレベーターを設置して欲しいとの要望が出されています。

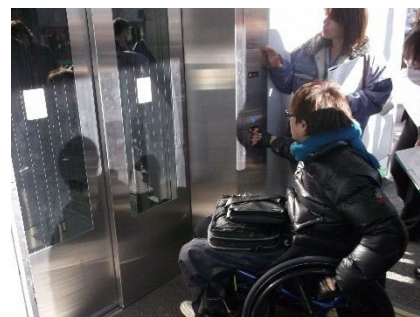
◇南平駅の橋上駅舎整備の概要



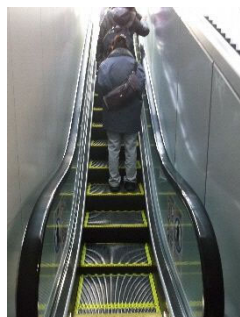
図面：京王電鉄ホームページより

●エスカレーターの幅が狭く、階段にはエッジ全体を示すラインの設置が望めます

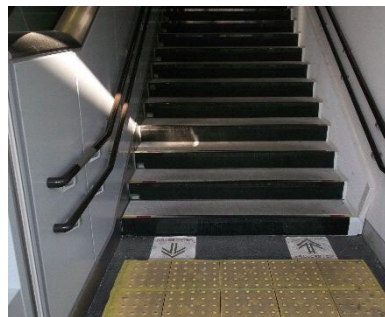
- ・南口のエレベーターは18人乗りで、車いすも乗りやすく、ボタンも押しやすくなっていますが、エスカレーターは幅60cmと狭くなっています。
- ・階段は、2段手すりで、点字表示がなされていますが、踏面のエッジを示すラインが両端の一部にしかないので、全体を示すことが望めます。



エレベーターは18人乗りで、ボタンも押しやすい



エスカレーターの幅は60cm



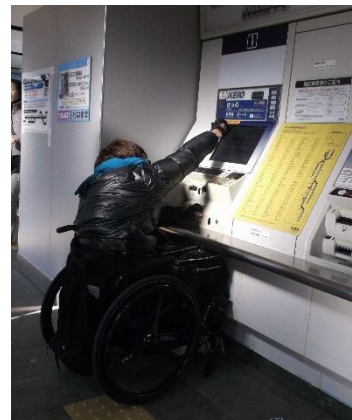
階段には2段手すりが設置され、手すりには点字表示がされている



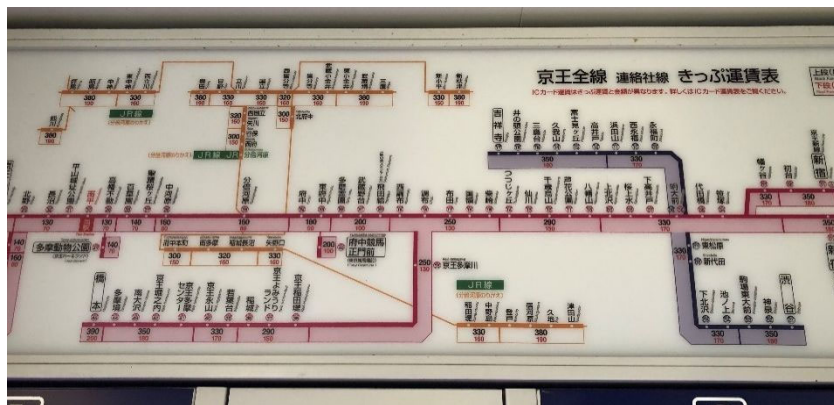
階段のステップ面のエッジサインは端部のみ

●車いす使用者は切符が購入しにくく、券売機の改善か別のサポートが必要です

- ・券売機には駅名がひらがなで表示してあり、購入しやすくなっています。
- ・車いす使用者にとっては、券売機のタッチパネルの面が高く、押しづらくなっています。
- ・電動車いす使用者は手が不自由な方が多いので、切符を購入するには、別のサポートが必要とされます。
- ・また、路線図の字が小さく、見づらくなっています。



車いす使用者にとって券売機のタッチパネルは高い



路線図は券売機の上部にあり、文字が小さい



電動車いす使用者は手が不自由な方も多く、券購入には別のサポートが必要

●待合室が設置されましたが、室内では車いすが回転しにくい状況にあります

- ・ホーム上には内方線付点字ブロックが整備されました。
- ・ホームに待合室が設置され、快適に電車を待つことができるようになりましたが、室内が狭いので、車いすは回転しにくい状況にあります。



ホーム上に整備された内方線付点字ブロック



待合室があるのはよいが、狭くて車いすは回転しにくい

●ホームへの案内をより分かりやすくすることが求められています

- ・改札口には幅広の改札が2箇所設置されており、車いす使用者やベビーカーにとっては利用しやすくなっています。
- ・橋上通路の天井部には電車の発車案内板、改札口周辺には触知図を含む各種の案内サインが設置され、改札口には筆談器の案内がされています。
- ・ただし、改札に入った天井のホームへの案内サインは、ホーム番号の横の文字が小さくなっています。
- ・また、上りホームのエレベーターを案内するサインは改札口から進行方向に設置され、改札口に対して正面を向いていないので、見づらくなっています。

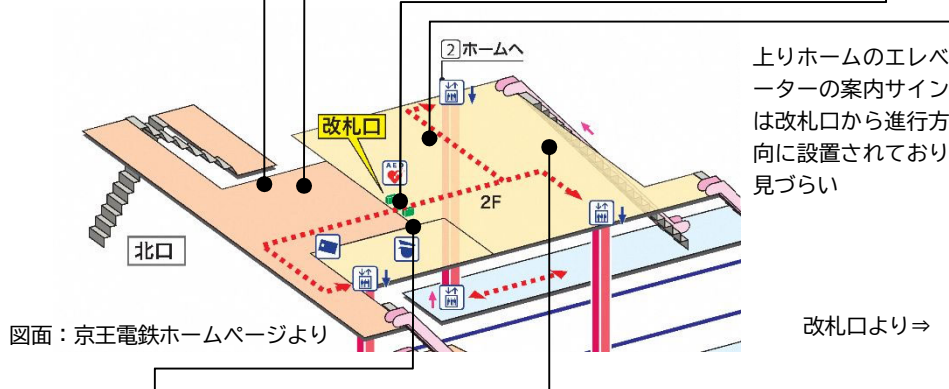
触知図が設置されている



電車の発車案内板が設置されている



車いす使用者が通行できる改札が2箇所ある



上りホームのエレベーターの案内サインは改札口から進行方向に設置されており見づらい



改札口より⇒



筆談器が案内されている



ホーム番号の横の文字が小さい

●トイレへの案内サインや時刻案内が不足している状況にあります

- ・1番線ホームに、エレベーターに隣接してバリアフリートイレが設置されており、オストメイト※対応となっています。また、男子トイレにもベビーチェアが設置されています。ただし、トイレがホームの端に設置されているため、その場所を知らせる案内サインが不足している状況にあります。
- ・また、電車の時刻案内が階段下に1箇所しか設置されていないため、今後は複数の設置が望まれます。



バリアフリートイレが設置されている

※オストメイト：臓器に機能障害を負い、腹部に人工的に排泄のための開口部を造設した方のためのトイレ



ベビーチェアが設置されている男子トイレ



トイレを案内するサインが不足している



電車の時刻案内が階段下に1箇所しか設置されていない

(2) 重点整備地区の位置・範囲

重点整備地区の位置・区域は、第2章の2-4で設定した基本的考え方に従い設定しました。旧基本構想策定時以降、京王線に沿った北側に「南平体育館」が改修整備されたことに伴い、それを取り込むような形で区域を拡大しています。なお、旧基本構想策定時には、道路等を重点整備地区界としていましたが、設定した区域（道路）の外側に生活関連施設とすべき施設が新たに立地しており、また今後も想定されることから、都市計画の用途地域界を参考に重点整備地区界を再設定しました。

(3) 生活関連施設、生活関連経路

① 生活関連施設

生活関連施設は第2章の2-4で示した選定の基本的考え方に基づき、以下の施設を設定しました。旧基本構想策定時以降、南平体育館が建替えられ、これを新たに生活関連施設として追加しました。また、ヤオコー日野南平店が新規出店しました。

【公共交通施設】

名称	施設管理者	平均乗降者数（人/日）
京王電鉄南平駅	京王電鉄株式会社	10,722人（2019年度実績）

【公共施設、福祉施設その他の施設】

分類	生活関連施設	備考
学校等施設	七生中学校	特別支援固定学級（知的障害）
集会施設	南平駅西交流センター	
物品販売業を営む店舗等	スーパーアルプス南平店	建替え
	クリエイトSD南平店	
	ヤオコー日野南平店	新規追加施設
運動施設又は遊戯場等	南平体育館	新規追加（現在建替え工事中、令和4年4月開所予定）
サービス店舗等	日野南平郵便局	

※分類は日野市ユニバーサルデザイン推進条例の分類に準じています

② 生活関連経路

生活関連経路は第2章の2-4で示した選定の基本的考え方に基づき選定しました。旧基本構想策定時以降実施された南平体育館の建替えに伴い、そこに至る経路を新たに生活関連経路として追加しています。

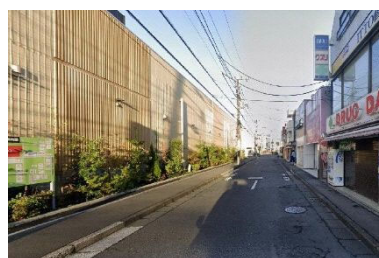
(4) バリアフリー化の方針

●北野街道と一体となったバリアフリーの環境整備を行います

- ・現在、交差点を中心とした区間において渋滞対策の道路改良が実施されている北野街道と一体となってバリアフリー化された歩行ネットワークを整備していきます。
- ・駅周辺や北野街道沿いの商業施設などを結ぶ生活関連経路においては、「移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準」及び「道路の移動円滑化ガイドライン」に沿った歩道の改修により段差の解消、波打ち歩道の解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置等が求められます。
- ・特に、南平駅と北野街道を結ぶ幹線市道Ⅱ-21号線は、歩行ネットワークの主軸となることから、歩道の整備や、歩道の波打ちを解消するとともに、道路空間を活かし、より歩行しやすい移動空間の確保を進めていきます。
- ・歩道の有効幅員1.5～2.0mを確保する必要がある場合には、電線類の地中化、電柱の民有地への移設等、場所に応じた多様な方策により実施します。
- ・また、個別的な段差の解消や、グレーチングの網目の改良などを進めます。
- ・生活関連経路上の交差点では、視覚障害者誘導システムによる音響式信号機や歩行者用青信号の時間延長を行う信号機等の設置を検討します。
- ・まちづくりマスタープランの位置づけを踏まえ、用水路沿いの歩行者空間整備など、自然環境と一体となったバリアフリー環境の整備を行います。



交差点改良が進められた南平2丁目交差点



歩道の整備、歩道の波打ち解消、歩行しやすい通行空間の整備が必要な幹線市道Ⅱ-21号線



個別的な段差の解消や、グレーチングの網目の改良などを実施



用水と一体となった歩行者空間整備の推進

●単断面道路（歩車道一体型の道路）については、イメージハンプの設置等、歩行者の安全性を高めるバリアフリーの環境整備を行います

- ・同地区では、面的整備がなされていないため、歩道のない道路で生活関連経路を構成する区間が多くなっています。
- ・幅員が8～9mの道路では歩行者空間を確保するとともに、6m以下の道路では車両速度を抑制して歩行者の安全性を高めるイメージハンプ※の設置等、歩行者の安全性を高める整備を進めていきます。

※舗装の色や材料を部分的に変えることにより、視覚的に注意走行を促し、車の速度を抑制させる舗装のこと



カラー舗装により確保された歩行空間（幹線市道Ⅱ-22号線、幅員8m）



交差点におけるイメージハンプの設置事例（百草園駅北側）



外側線と視覚障害者誘導用ブロックの設置事例（東京都世田谷区）

●幅員の狭い単断面道路は、沿道建築物の建て替えに伴った拡幅整備を行います

- ・道路幅員が1.5～2.0mに満たない区間は、沿道建築物との一体的な整備が必要とされるため、すれ違いができる部分的な道路拡幅や、建築物の建て替えに伴った拡幅整備を進めていきます。
- ・また、水路との接続部での勾配緩和や見通しの改良を検討していきます。



道路幅員は1.2mで、沿道建築物との一体的な整備と、水路接続部での勾配緩和や見通しの改良が必要な市道（L2-2号線）

●都営住宅内の通路と一体となった生活関連経路のネットワークを目指します

- ・道路特定事業は道路を基本としますが、南平駅西交流センターへは、歩道が連続的に整備されていない状況にあります。
- ・このため、都営住宅内の通路と一体となった生活関連経路の整備が求められます。



都営住宅内の通路

●統一した音声案内やサイン整備を実施します

- ・道路管理者・鉄道事業者が連携し、情報提供の基本的な考え方を統一し、音声案内や案内サインなどの整備に努めます。
- ・視覚障害者誘導用ブロックについては、JIS規格のブロックを使用するとともに、音声案内付視覚障害者誘導用ブロック等の設置を検討します。

序章

はじめに

第1章

ユニバーサルデザインまちづくりを
取巻く現状と課題

第2章

ユニバーサルデザインまちづくりの
基本方針（移動等円滑化方針）

第3章

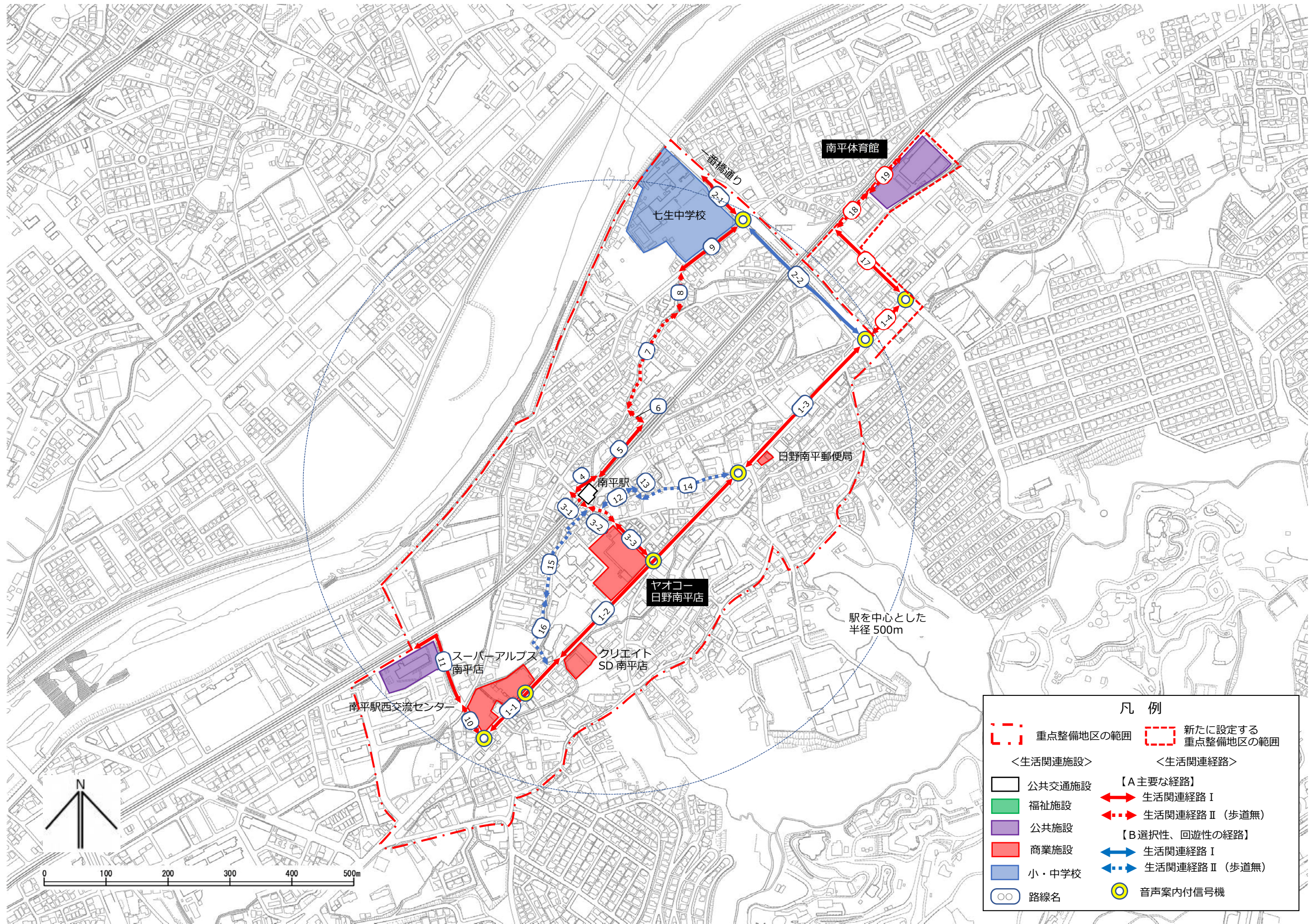
第三次日野市
バリアフリー基本構想

第4章

ＣＤ推進計画の推進と展開
について

参考資料

南平駅周辺地区バリアフリー基本構想図



(5) 特定事業

① 公共交通特定事業 【実施期間】 前期(2022-2026 年)／後期(2027-2031 年)／長期 (2032 年～)

【南平駅（施設管理者：京王電鉄株式会社）】

※4 駅同事業

分類	事業内容	整備時期		
		前期	後期	長期
知る	多様な利用者の意見の取り入れ	●	●	●
安全対策	車両とホームのすき間・段差の解消検討	●	●	●
	ホームドア設置の検討	●	●	●
案内・情報	“だれでも”や“多目的”のトイレ表示の改め(当該トイレ出入口に利用対象及び個別機能を表すピクトグラム等で表示)検討	●	●	●
	一般トイレに設置されたベビーチェアの機能をピクトグラム等で表示(一般トイレのマークの下などに)の検討	●	●	●
	聴覚障害者が緊急時や運行情報等の状況を把握できるよう情報提供の維持・管理	●	●	●
適正管理	バリアフリー施設や筆談ボード等の適正管理・必要に応じて更新	●	●	●
教育啓発特定事業	エレベーターやバリアフリースイッチ、車両優先席の適正利用に関する啓発	継続事業		
心のバリアフリー (教育啓発特定事業)	高齢者、障害者、妊婦、乳幼児連れ等の特性理解のための教育	継続事業		

※有人改札の他に、車椅子使用者や大型ベビーカー等が通過可能な改札は設置済

【各地区共通事業】

※事業内容は各地区共通の事業のため、後述にまとめて記載しています

対象	事業者	記載ページ
乗合バス	京王電鉄バス	153
	日野市・京王電鉄バス(日野市ミニバス)	154
対象	事業者	記載ページ
タクシー	京王自動車	154
	新立川交通	155
	都民交通	155
	日野交通	155
	南観光交通	155

② 道路特定事業

【実施期間】前期(2022-2026 年)／後期(2027-2031 年)／長期 (2032 年～)

路線名※1 経路区分	事業者 道路名称	幅員 (m)	主な事業内容	整備予定時期		
				前期	後期	長期
1-1 1-3 A I	東京都 都道 173 (北野街道)	16.0	・波打ち歩道の解消 ・視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・透水性舗装の整備※第四次事業化計画の優先整備区間			●
1-2 A I	東京都 都道 173 (北野街道)	16.0	・波打ち歩道の解消 ・視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・透水性舗装の整備 ・電線類の地中化 ※すいすいプラン事業中区間	●	●	
1-4※2 A I	東京都 都道 173 (北野街道)	16.0	・視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・電線類の地中化	●		●
2-1 A I	日野市 幹線市道Ⅰ-11	29.5	・視覚障害者用誘導ブロックの設置	●		
3-1 AⅡ	日野市 幹線市道Ⅱ-21	5.95	・踏切部及び接続する南北区間での歩行空間の確保			●
3-2 AⅡ		7.5	・歩行空間確保の検討			●
3-3 A I		8.5	・歩道の改良による歩行空間の確保			●
4 A I	日野市 市道Ⅱ-1	2.1	・路線番号 3-1 との接続部における警告用の視覚障害者誘導用ブロックの設置	●		
5 A I	日野市 市管理道路	2.9	・東側車止め部分での視覚障害者誘導用ブロックの設置	●		
6 AⅡ	日野市 市道Ⅱ-3	5.0	・カラー舗装等により運転手への注意喚起			●
7 AⅡ	日野市 市道Ⅱ-2	5.25~ 5.75	・カラー舗装等により運転手への注意喚起			●
8 AⅡ	日野市 市道Ⅱ-2-2	2.0	・グレーチングの改良（網目の小さいものに置き換え）			●
9 A I	日野市 市道Ⅱ-1	7.07 ~7.5	・学校の敷地内通路までの区間について、カラー舗装等により運転手への注意喚起 ・グレーチングの改良（網目の小さいものに置き換え）		●	●
11 A I	日野市 (地域協働課) 都営住宅 敷地内通路	1.9~ 2.0	・視覚障害者誘導用ブロックの設置の検討	●		
12 BⅡ	日野市 市道Ⅱ-7	5.0	・歩行者優先道路を示す路面標示（カラー舗装、イメージハンプ）			●
13 BⅡ	日野市 市道Ⅱ-7-1	5.0	・歩行者優先道路を示す路面標示（カラー舗装、イメージハンプ）			●
14 BⅡ	日野市 市道Ⅱ-7-2	2.35~ 3.3	・歩行者優先道路を示す路面標示（カラー舗装、イメージハンプ）			●
15 BⅡ	日野市 幹線市道Ⅱ-2-2	4.5~ 5.15	・歩行者優先道路を示す路面標示（カラー舗装、イメージハンプ）			●
16 BⅡ	日野市 市道Ⅱ-8	4.86~ 5.05	・歩行者優先道路を示す路面標示（カラー舗装、イメージハンプ）			●
17※2 A I	日野市 市道Ⅱ-8-8	11.0	・視覚障害者誘導用ブロックの設置 ・大規模改修の際に歩道有効幅員の確保	●		●
18※2 AⅡ	日野市 市道Ⅱ-9-0	8.0	・歩道設置等による歩行空間の確保	●		

【実施期間】前期(2022-2026年)／後期(2027-2031年)／長期(2032年～)

19※2 AII	日野市 市道M10	8.0	・歩道設置等による歩行空間の確保	●		
生活関連 経路	日野市 自転車放置禁 止区域内	—	・放置自転車対策として生活関連経路における見回りを強化	継続事業		
生活関連 経路	日野市	—	・歩道縁石やインターロッキング、視覚障害者誘導用ブロック等の適切な維持管理により、だれもが安全な歩行空間を維持管理 ・はみだし看板や商品対策として生活関連経路における巡回実施	継続事業		

※1：路線名は基本構想図の路線名を示しています

※2：本改定により追加（延伸）した新規路線を示しています

③ 建築物特定事業 【実施期間】前期(2022-2026年)／後期(2027-2031年)／長期(2032年～)

【公共施設】

1. 七生中学校(施設管理者：教育部庶務課、教育啓発特定事業：教育部学校課)

分類	事業内容	整備時期		
		前期	後期	長期
案内・標示	“だれでも”や“多目的”のトイレ表示の改め (当該トイレ出入口に利用対象及び個別機能を表すピクトグラム等で表示)	●		
心のバリアフリー (教育啓発特定事業)	教師自身の心のバリアフリー(特性理解)を進め、生徒へ心のバリアフリーに関する教育の推進	 継続事業		

2. 南平駅西交流センター(施設管理者：地域協働課)

分類	事業内容	整備時期		
		前期	後期	長期
案内・標示	“だれでも”や“多目的”のトイレ表示の改め (当該トイレ出入口に利用対象及び個別機能を表すピクトグラム等で表示)	●		
適正管理	筆談可能な旨の掲示と筆談器または筆談ボードの維持管理	●	●	●
心のバリアフリー (教育啓発特定事業)	障害者や高齢者、妊婦、乳幼児連れ等の特性理解のための職員教育の推進	 継続事業		

【民間施設】

3. 日野南平郵便局(施設管理者：同左)

分類	事業内容	整備時期		
		前期	後期	長期
利用	駐車場について可能な限り障害者等優先利用の表示	●	●	●
情報	筆談可能な旨の掲示と筆談ボード等の設置	●		
心のバリアフリー (教育啓発特定事業)	障害者や高齢者、妊婦、乳幼児連れ等の特性理解のための係員教育の推進	 継続事業		

【実施期間】 前期(2022-2026 年)／後期(2027-2031 年)／長期 (2032 年～)

4. スーパーアルプス南平店(施設管理者：㈱アルプス)

分類	事業内容	整備時期		
		前期	後期	長期
情報	『とうきょうユニバーサルデザインナビ』へ施設のバリアフリー情報を登録	●		
	筆談可能な旨の掲示と筆談ボード等の設置	●		
心のバリアフリー (教育啓発特定事業)	障害者や高齢者、妊婦、乳幼児連れ等の特性理解のための係員教育の推進	継続事業		

5. ヤオコー日野南平店(施設管理者：同左)

分類	事業内容	整備時期		
		前期	後期	長期
情報	筆談可能な旨の掲示と筆談ボード等の設置	●	●	●
心のバリアフリー (教育啓発特定事業)	障害者や高齢者、妊婦、乳幼児連れ等の特性理解のための係員教育の推進	継続事業		

6. クリエイトSD日野南平店(施設管理者：㈱クリエイトエス・ディー)

分類	事業内容	整備時期		
		前期	後期	長期
情報	施設のホームページ等にバリアフリー情報の掲載	検討		
	『とうきょうユニバーサルデザインナビ』へ施設のバリアフリー情報を登録	検討		
	筆談可能な旨の掲示と筆談ボード等の設置	検討		
心のバリアフリー (教育啓発特定事業)	障害者や高齢者、妊婦、乳幼児連れ等の特性理解のための係員教育の推進	継続事業		

④ 交通安全特定事業

【各地区共通事業】

※事業内容は各地区共通の事業のため、後述にまとめて記載しています

対象	事業者	記載ページ
生活関連経路	東京都公安委員会（日野警察署）	156

⑤ 教育啓発特定事業

【各地区共通事業】

※事業内容は各地区共通の事業のため、後述にまとめて記載しています

対象	事業者	記載ページ
市内全域	日野市	156